

全校朝会（おてがみ）

2019. 3. 18

6年生に：6年間大切に使ったものについて聞きました。

昨日は、吹奏楽団の第12回定期演奏会でした。演奏も、頑張ろうという一人一人の気持ちも、とても素晴らしかったです。聴きにいらしていた方からは、「小学生の演奏とは思えなかった。」「感動した。」「1時間半があつという間だった。」などの声尾をいただきました。本当に、感動をありがとうございます。

さて、先週から2年生の「戸三小 こどもゆうびんきょく」が始まっています。2年生が毎日、ポストに投函した手紙を回収し、スタンプを押し、配達をしてくれます。ハガキや切手を作ることもしてくれています。私は、お手紙をもらうと、とてもうれしいです。お返事も書いています。お手紙やお返事は書き始めるととても楽しいです。お手紙を出した後で、お返事いつくるかなあと待っている時も、なんだか幸せな気持ちになるから不思議です。そういえば、2年生の担任の先生をした時にがまくんとかえるくんのお話を勉強したな、がまくんもこんな気持ちだったのかな・・・と思いました。

「手紙」に関するお話の本は、けっこうたくさんあります。がまくんとかえるくんが出てくる「ふたりは ともだち」、林明子さんの「とん ことり」、チュウチュウ通り10番地「スタンプに来た手紙」、「あひるのてがみ」「ひなまつりのおてがみ」「そよかぜのてがみ」「ジョンくんのてがみ」「おへんじください」「てがみをください」・・・きっと、まだまだたくさんあると思います。

今日は、この中で私が一番好きな「あひるのてがみ」をしょうかいします。出てくるのはほんまち小学校の1年生のみんなと先生と「たなかけんいち」さんです。「たなかけんいち」さんは、24歳なのですが、ゆっくりゆったり大きくなって、やっとひらがなを全部書くことができるようになったので、ほんまち小学校の1年生と文通をしたいなと考えて手紙を出します。文通というのは、お手紙をもらってお返事を書いて、またお手紙をもらってお返事を書くお手紙交換のことです。1年生は文通をすることができるなんて知って大喜びです。でも、便箋に書いてあったのは「あひる」という3文字だけでした。みんなは困ったのですが「るびー」という字とルビーの指輪の絵をかいて封筒に入れて送りました。お返事は、次の次の日に「いるか」と書かれて届きました・・・そして、その後も「かえるのうた」「たぬき」「きつね」「ねずみ」「みんな」「なつやすみ」「みみず」「する」「ルーマニア」「アメリカ」・・・とお手紙交換は続き、1年生の最後には、クラス全員分18枚の「ありがとう」の手紙が届きます。みんなは、それぞれに「うた ありがとう」とか「うじきんときみるく ありがとう」とか「うんどうかい ありがとう」とか「うれしい ありがとう」などと書いて手紙をだします。

この「あひるのてがみ」は、本当に、ある小学校に届いた手紙をもとに書かれたお話だそうです。1回きりのお手紙もずっと続く文通も、どちらもとてもいいなと思います。今日と明日は、まだ配達があるようなので、みなさんも「戸三小 こどもゆうびんきょく」のポストに手紙を出してみてもどうでしょうか。

未来の戸塚の町を描いた、絵の表彰をしました。